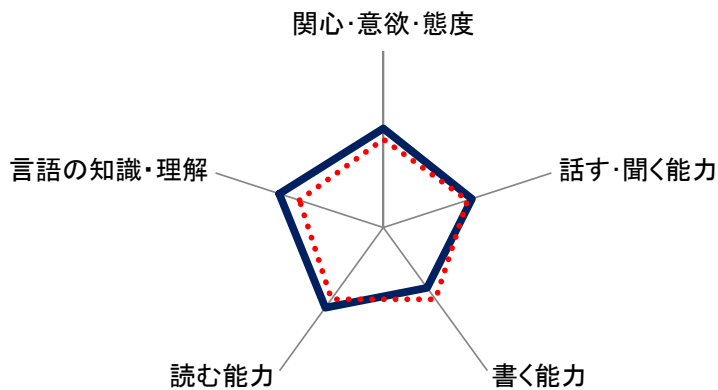


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

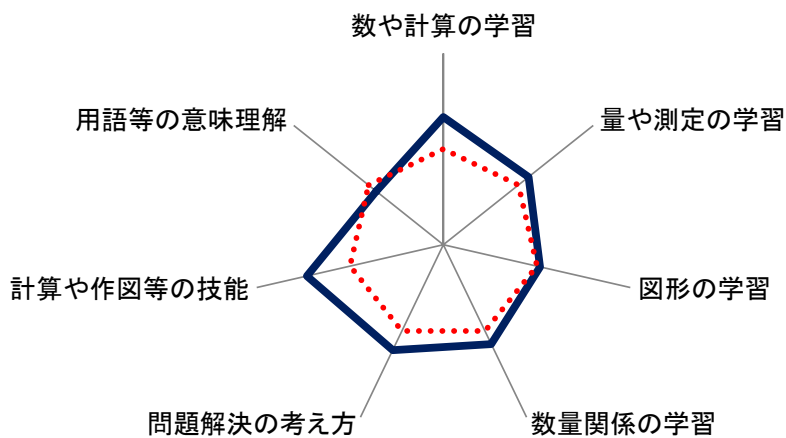
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

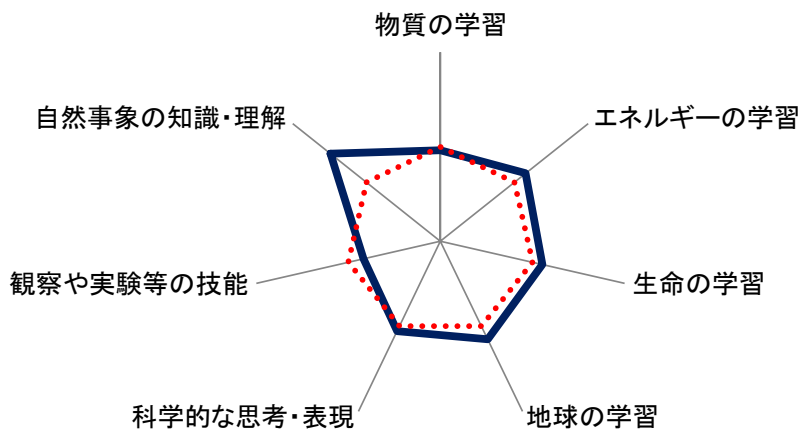
— 町平均  
..... 全国平均



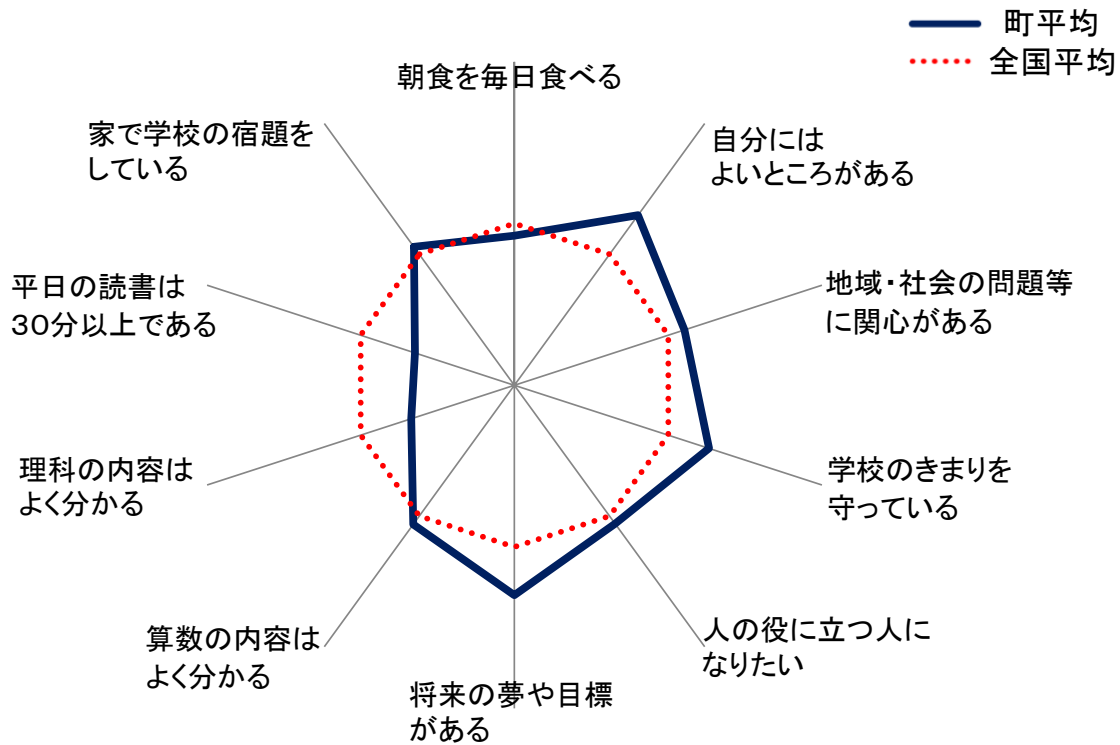
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数、理科の多くの項目で全国平均を上回っており、特に算数は「計算や作図等の技能」、理科は「自然事象の知識・理解」の各項目が良好である。国語では「書く能力」、算数では「用語等の意味理解」、理科では「観察や実験等の理解」と、各教科ごとに1項目ずつ全国平均を下回っている項目があることから、今後、更なる学力の向上と定着に向けて、基礎と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」や「学校のきまりを守っている」などの各項目で、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っており、自尊感情や規範意識が高い。良好な学力の結果にも関わらず、「理科の内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく下回っていることについて、詳細に分析して授業改善を図るなどの対策が必要である。「平日の読書は30分以上である」の項目は、昨年度に引き続き、全国平均を大きく下回っている。みきゃん通帳の活用方法を検討するなど、読書に親しむ習慣づくりに心掛け、児童一人一人に応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。